

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: みどり自然課
 担当名: 自然ふれあい担当
 内線: 3156 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B37	自然ふれあい施設等管理費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費		
事業期間	平成18年度～	根拠法令	地方自治法、都市公園法、埼玉県自然学習センター条例ほか		宣言項目				
					分野施策	051247 生物多様性の保全			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>県民が自然とふれあい、また、学習する機会を設けることにより自然保護思想の普及向上を図ため、施設等周辺の自然環境の保全を図るとともに、県民が自然とふれあう場を提供するため、その拠点である自然ふれあい施設の適正な管理運営が必要である。</p> <p>(1) 自然ふれあい施設等推進事業費 △29,369千円 緑の森博物館公有地化事業の執行が見込みを下回ったこと、北本自然観察公園詳細設計業務委託の契約差金及び山西省友好記念館あり方検討委託の契約差金による減</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 自然ふれあい施設等4施設の指定管理運営費(通年) 108,463千円 自然ふれあい施設等の管理運営に係る指定管理者への委託料</p> <p>イ 自然ふれあい施設等推進事業費(通年) 77,970千円 → 48,601千円 (ア) 自然ふれあい施設等の施設改築工事や維持管理修繕(県実施分) (イ) さいたま緑の森博物館用地取得費、さいたま緑の森博物館森林管理 (ウ) 山西省友好記念館のあり方検討に係る経費</p> <p>ウ 自然ふれあい施設借地料等(通年) 19,637千円 さいたま緑の森博物館用地借地料等</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 自然ふれあい施設等4施設 山西省友好記念館については、平成29年度末で指定管理を終了することに伴い、今後のあり方について検討する。</p> <p>イ 自然ふれあい施設推進事業費 計画的な森林管理、施設管理を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>自然ふれあい施設等4施設利用者数 平成28年度: 164,500人(計画) (実績170,437人) →平成29年度: 目標146,200人</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>ア 緑の森博物館公有地化事業について執行が見込みを下回ったことによる減額 △24,467千円 イ 北本自然観察公園施設改修詳細設計業務の契約差金の減額 △1,251千円 ウ 山西省友好記念館あり方検討について執行が見込みを下回ったことによる減額 △3,205千円 エ 需用費等の経費節減による減額 △446千円</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) イ(ア)の一部: (国1/2、県1/2) 上記以外(県10/10)</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△29,369	国庫支出金	使用料・手数料	県債				△3,744	176,701
現計額	206,070	△625	85	48,000				154,985	